

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



開院30周年のご挨拶

病院長 向井 恵一

既にホームページでご報告いたしておりますが、患者さま・職員に複数の新型コロナウイルスの陽性者が発生しました。入退院制限や発熱患者さまの受入抑制等、患者さま、ご家族さま、関係機関の皆さまにはご迷惑をおかけしております。引き続き、感染拡大防止に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

そのような中で恐縮ですが、横浜新緑総合病院は、2021年2月1日をもちまして、開院30周年を迎えることとなりました。これらもひとえに支えてくださる地域の皆さま、医療機関をはじめとする関係各位のおかげです。職員一同、深く感謝いたしております。

新型コロナウイルスの蔓延により、健康を守る状況は大きく変わりつつあります。私達は、環境の変化に配慮しつつ、今後とも、地域の皆さまに、より安全で、より質の高い医療の提供を実践できるよう努力してまいります。

今後とも、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

健康講座「糖尿病網膜症について」

横浜新緑総合病院 眼科 副部長 下山 玲子

【糖尿病網膜症とは】

眼の奥には、細かい血管がたくさんあります。糖尿病になると血液中の糖分が高くなり、血管の壁を構成する細胞に障害をきたします。これが糖尿病網膜症の始まりです。

【糖尿病網膜症の進行】

単純型：軽い出血（眼底出血）や血管のこぶ（血管瘤）ができます。

前増殖型：眼底出血が増えます。また、血管のなかに血栓ができて血管が詰まり、眼の中にうまく血液が流れなくなります。

増殖型：眼の中に血液が流れなくなると、眼の中に新しい異常な血管（新生血管）が生えてきます。新生血管により大量の眼底出血や緑内障が起こります。この段階を放置すると失明に至ります。

黄斑症：眼底の真ん中の部分を黄斑（おうはん）とよびます。この部分で物を見る大事な場所ですが、網膜症の程度にかかわらず、黄斑が腫れたり、出血などの影響で障害が生じることがあります。黄斑症がでると直接視力に影響するため、視力低下、歪視（わいし）の自覚症状が強く出ます。

【糖尿病網膜症の症状】

糖尿病網膜症は、初期の段階では自覚症状はほとんどありません。ある程度進行すると、視力低下、歪視などの自覚症状が出る場合もありますが、自覚症状が無い場合も多いです。極端な場合、失明寸前まで網膜症が進行していても自覚症状を訴えられない場合もあります。

【糖尿病網膜症の検査】

眼底検査：必ず毎回行う検査です。点眼薬で瞳孔を開いて、眼の奥を診察し、糖尿病網膜症の程度を確認します。

蛍光眼底造影検査：網膜症が進行してきたら、進行の程度、治療方針を



決定するために行います。造影剤を注射した後に連続して眼底写真を撮影します。

【糖尿病網膜症の治療】

基本は「糖尿病の管理」です。全ての段階の糖尿病網膜症で必要不可欠です。食事指導、内服など、内科主治医の指示を守りましょう。血糖値が悪ければ、網膜症は進行します。

網膜症が進行した場合は、レーザー治療、硝子体手術、網膜症の進行を抑える抗VEGF薬投与（硝子体注射）などがあります。ただ、網膜症がかなり進行すると、治療をしても視力がもとに戻らない場合もありますので、早い段階で病気を見つけることが必要です。

糖尿病がある方は、必ず目の診察が必要です。随時、ご相談ください。WEB版みんなの健康講座では、さらに詳しいご説明をしております。ぜひ、ご覧ください。

WEB版 みんなの健康講座
糖尿病網膜症について





人間ドック・健診センター 安心への取り組み

当院の健診センターでは感染予防策を徹底し、皆さまに安心して受診していただけるよう環境を整えております。今回は健診センターでの取り組みを一部ご紹介いたします。

《抗ウイルス処理を実施しました》

- センターの待合ロビー、更衣室、トイレに抗ウイルス剤※を塗布しました。
※5分でウイルスが不活化する効果が期待できます

《サーマルカメラを導入しました》

- 病院正面入り口に設置しましたサーマルカメラと同様の機器をセンター入口にも設置しました。入室前の問診による体調確認と検温にご協力お願い致します。
- 肺機能検査は引き続き休止とさせていただきます。

《待合フロアの椅子を一人掛けに変更しました》

- 検査をお待ちいただく中央待合の椅子を、一人掛けのものに変更しました。お隣の方と距離をとってお掛けいただけます。もちろん、椅子には抗ウイルス処理がされています。

このほか、センター運営にあたっては関連学会から示されている健診実施に関するガイドラインをもとに、基本的な感染対策を徹底して受診者さまをお迎えしております。どうぞ安心してご来院ください。

人間ドック・健診のご予約、およびお問い合わせ

045-984-3003 (月～土 9:00～17:00)

お気軽にご連絡ください。

抗ウイルス処理



サーマルカメラ



待合フロア



横浜市及び緑区社会福祉協議会より表彰されました！

社会福祉協議会とは、住み慣れた地域の中で、「誰もが安心して暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という理念のもと、住民やボランティア、市民団体の方々と様々な活動を展開する市民団体です。

当院は、患者さまの療養支援において福祉関係の方々と日頃から連携を図っており、また、病院バザー収益金の寄付やボランティアの受け入れなど、社会福祉活動への支援を行っております。今後も医療を通して地域福祉の増進のための活動を続けてまいります。



WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

◇ WEB版みんなの健康講座はホームページ、スマホ（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

WEB版 みんなの健康講座
第1回 脱腸（鼠径ヘルニア）
～意外と多い脱腸、もしかすると～
講師：消化器センター 副部長 平山 亮



WEB版 みんなの健康講座
第2回 知ろう！学ぼう！考えよう！
乳がんのこと ～検診と診断編～
講師：外科・乳腺外科部長 大地 哲也



WEB版 みんなの健康講座
第3回 骨粗鬆症（こつそしょうしょう）と
腰椎圧迫骨折について
講師：整形外科医長 安原 和之



WEB版 みんなの健康講座
第4回 糖尿病と運動療法
講師：リハビリテーション部 主任
理学療法士 邑上 洋一



WEB版 みんなの健康講座
第5回 病気と思う前に…
～泌尿器科編①～
講師：泌尿器科部長 石川公庸



3月配信予定 WEB版みんなの健康講座
「～泌尿器科編 ②～」
泌尿器科部長 石川 公庸

